



『侵食』 イラスト：横浜市立大学 国際総合科学部 国際教養学系 3年 美術部所属 石黒 葵

## 会長挨拶

横浜市立大学後援会 会長 矢部 丈太郎

保護者の皆様にはご健勝のこととお慶び申し上げます。新型コロナウイルスの感染拡大による異常事態は、経済活動のみならず学生生活にも、これまで経験したことのない多様な被害を引き起こしています。大学行事の華ともいえる卒業式も入学式も中止になり、7月から一部の学生は課外活動等で入構していたものの、ほとんどの新入生は9月中旬に至るまで大学の構内へ入ることさえできませんでした。半年以上にわたり対面授業を受けることも、友達との交流もできなかった学生たちは本当に気の毒でした。特に海外留学が既に決まっていた学生は可哀想でした。

この異常事態に対処するため大学は、学生への資金援助を中心に学生の生活支援を進めていますが、後援会としても通常の支援活動に加えて、新型コロナウイルス感染症対策(換気扇設置等)としての支援など、できる範囲の中で学生への緊急支援を検討していくこととしました。毎年7月に開催する総会は書面決議に替えましたが、返信を利用してアンケートをお願いしたところ、貴重なご意見・ご要望が寄せられました。ご要望に沿った運営を心掛けて参りたいと思っております。今後とも後援会活動へのご協力・ご支援のほどよろしくお願いいたします。最後に、一日も早くコロナ禍が終息し、マスクなしの生活に戻る日が来ることを祈念しております。



# 学長挨拶

横浜市立大学 学長 相原 道子

横浜市立大学後援会の皆様方には、平素より本学へのご支援をいただいておりますこと、厚く御礼申し上げます。

横浜市立大学は、この3年間で大規模な学部・研究科の再編・新設をはじめとする大学改革に取り組んできました。創立90周年の2018年にデータサイエンス学部を新設、翌2019年には国際総合科学部を国際教養学部、国際商学部、理学部に再編し、2020年4月にはデータサイエンス研究科を新設しました。それと同時に、横浜の中心部であるみなとみらいにサテライトキャンパスをオープンしました。

これまで、「課題を発見、解決する力」を育ててきた教育の土台に加え、新たな学部・研究科体制で、それぞれの専門分野における先端知識を獲得しそれを活用することにより、複雑化する社会課題に着実に対応できる人材を育成していきます。また、より一層の産学連携、企業とのコラボレーションによる共同研究等を展開することにより、イノベーションの創出を目指します。医学の領域では、グローバルスタンダードに準拠した医学教育を推進し、国際的に活躍できる医師や研究者の育成に力を入れています。新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、大学教育のあり方はこれまでとは大きく異なりますが、新たな時代に即した大学教育を構築していきます。

さて、横浜市立大学は2028年に創立100周年を迎えます。また、その先に現在の二つの附属病院を統合した新病院の建設を計画しています。これからも教育・研究・医療の各分野でリードしていくことを使命とし、社会の発展に寄与するとともに、市民の誇りとなる大学づくりを進めて参ります。

保護者の皆様方と卒業生をはじめとする後援会の皆様方には、これまでも、学修活動やクラブ活動への支援、留学や就職関係事業、さらには新型コロナウイルス対策への支援など、幅広いご助力を賜って参りました。引き続きのご支援をよろしくお願い申し上げます。



## 学部長挨拶

国際商学部長（後援会副会長） 大澤 正俊

横浜市立大学後援会の皆様におかれましては、本学の教育・研究にご理解とご協力を賜り、感謝申し上げます。本年度の新入生は、国際教養学部 288 名（内、女子学生 221 名）、国際商学部 270 名（同 138 名）、理学部 129 名（同 66 名）、データサイエンス学部 63 名（同 16 名）、医学部医学科 90 名（同 40 名）医学部看護学科 102 名（同 100 名）です。新たに後援会の会員となられました新入生保護者の皆様におかれましては、本会の趣旨をご理解いただき、ご支援の程、よろしくお願い申し上げます。また、国際総合科学部につきましても、在校生全員が卒業するまで教育体制を維持して参ります。

さて、本来ならば4月6日の入学式から、新入生、在校生ともにキャンパスライフをスタートするはずでした。しかし、新型コロナウイルス感染拡大防止により、入学式は中止となり、キャンパスへの入構も原則禁止となってしまいました。こうした状況下においても、教育・研究を「学生の健康と安全は最優先」とした上で再開しようと、相原新学長のもと、全教職員が協力し授業再開に向けて教育体制を整備しました。その結果、前期は5月7日から全科目をオンライン授業で実施することができ、後期は、オンライン授業に加え、演習科目・語学科目を中心に対面授業を再開しています。コロナ禍、最善の教育が行えるように努めて参ります。

本学の特色は、主体的に課題を発見し、その課題を解決する力を育てる「教養教育」と、世界中の人々とのコミュニケーションを可能にする英語力を身につけ、国際的視野を涵養する「グローバル教育」です。そして、開設2年目を迎えた、国際教養学部、国際商学部、理学部では、在学中に多くの学生が海外留学や海外でのフィールドワークなどに参加することを教育の特長の一つに据えました。本来であれば、本年度も多くの学生が海外で様々な体験をする予定でした。残念ながら、全てのプログラムが渡航中止となってしまいましたが、一部のプログラムについては、新たな試みとして、オンライン海外研修、オンライン海外インターンシップとして実施したところです。

新型コロナウイルス感染症の世界的大流行という予想もしなかった現状において、また、これに伴い急変する世界情勢の中において、横浜市立大学は既成概念にとらわれることなく、新しい手法を積極的に取り入れ、教育・研究を継続して参ります。

これからも、横浜市立大学に対するご支援をよろしくお願い申し上げます。





## 横浜ランドマークタワーの産学連携イノベーション拠点に 「みなとみらいサテライトキャンパス」を 4月から開設



「みなとみらいサテライトキャンパス」は、三菱地所株式会社が開設した産学連携イノベーション拠点「NANA Lv. (ナナレベル)」内に、みなとみらい地区を中心とした企業と連携しながら教育・研究を展開する新たな取り組みの場として開設しました。

現在、大学院の授業を中心に、エクステンション講座（市民公開講座）や各種プログラムを実施しています。新型コロナウイルス感染症の影響で当初予定されていた講義科目の多くがオンライン実施となっていますが、後期は対面とオンラインを同時に行うハイブリッド型の授業が行われています。



また、学生のグループワークや企業とのコラボレーションに適した環境を整えているため、データサイエンス研究科においては企業の課題を実際のデータを活用しながら分析し、課題解決提案を行う演習なども行っています。

今後も、引き続きキャンパスの立地を活かして、データサイエンス研究科、国際マネジメント研究科、都市社会文化研究科などの社会人教育拠点として、社会に求められる人材育成に取り組んでいきます。

NANA Lv.には、11室のシェアオフィスを持つプロジェクトスペースがあり、大学との協業を考えている企業や大学発ベンチャーの企業が入居しています。

これらの企業と連携し、イノベーション人材の育成や大学の知のリソースを活かしたスタートアップ支援等など、横浜市が掲げる「イノベーション都市・横浜」に貢献することを目指しています。



## 10月19日(月) NANA Lv. オープニングイベント YouTube YCU チャンネルで動画公開中



データサイエンスを軸として企業と大学の連携について考えるイベントをライブ配信し、139名の方にご視聴いただきました。山中データサイエンス研究科長による基調講演、データサイエンス研究科小泉准教授が企業の方々と登壇したパネルディスカッションなどが行われました。

当日のパネルディスカッションの様子は横浜市内大学YouTubeチャンネルでご覧いただけます。

[https://www.youtube.com/watch?v=QTC2l416t\\_4](https://www.youtube.com/watch?v=QTC2l416t_4)

みなとみらいサテライトキャンパス

〒220-8107 横浜市内西区みなとみらい二丁目2番1号 横浜ランドマークタワー7階

## 大学の新型コロナウイルス感染症対策について

### 学生の利用スペースの感染防止対策

前期授業はほぼ全ての科目が遠隔授業での開講となりましたが、後期授業は学生同士のつながりや人間形成を育むことを目的として1年次生が履修する共通教養科目を中心に一部科目が対面授業（全授業の57%）での開講となりました。令和3年度はさらに専門科目でも対面授業を開講していきます。

学生は、入構すると必ず職員が常駐する検温所（サーモグラフィによる体温チェック）を通り教室に向かいます。学生の感染防止の意識を高めるために、手指消毒の徹底、マスクの着用も合わせて呼びかけています。

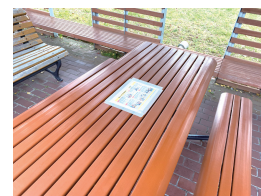
教室の座席は三密を防ぐため間隔をあけて座るように表示しています。



検温所



教室



屋外テーブル

注意喚起ポスター

### 窓口、図書館、食堂等の感染防止対策

学生が訪れる窓口はビニールシートを張り飛沫感染防止対策を徹底し、学生の感染リスクを減らすように対応しています。また、学術情報センター（図書館）や生協食堂も手指消毒や三密防止対策を徹底しています。

今後も感染防止対策として、各教室に換気扇の設置を進めていく予定です。



受付カウンター



メインカウンター

入館ゲート手指消毒

レファレンスカウンター



生協食堂



## 令和2年度定時総会（書面決議）の結果について

7月4日（土）に金沢八景キャンパス内シーガルホールでの開催を予定していました令和2年度横浜市立大学後援会定時総会は、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため開催を中止し、書面による決議で定時総会での承認に替えることとしました。

8月31日必着で会員3,882名のうち1,283名（回収率33%）から回答票がご提出され、全議案について承認されましたのでご報告いたします。（表1参照）

また、今回の議決に際し、保護者の皆様から後援会に対する多くのご意見をいただきました。誠にありがとうございました。

ご意見への回答を含めた今後の取り組みについて下記ご報告させていただきます。

### ●表1 書面決議結果（回収票数：1283通）

	回答数	承認数	承認率
第1号議案承認 令和元年度事業報告・決算	1280	1279	99.92%
第2号議案承認 令和2年度事業計画・予算	1281	1278	99.76%
第3号議案承認 理事の選任	1281	1279	99.84%

### ●今後の取り組みについて

令和2年度後援会定時総会書面決議に際しまして、保護者の皆様から議案に関する貴重なご意見・ご質問・ご要望をいただくとともに、心強い激励のお言葉をいただきました。誠にありがとうございました。本来であれば個別にお答えをさせていただくべきところではありますが、包括的にお答えをさせていただきますことを何卒ご容赦いただきたく存じます。

まず、令和2年度事業計画・予算につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響で海外研修支援事業をはじめ、その他の事業においてもすでに計画通りの執行を断念せざるを得ない状況にありましたが、その時点では新型コロナウイルス感染症の収束が見通せず、効果的な予算の組替えが困難な状況であったため、当初予算でお諮りすることにいたしました。

その後、断念した令和2年度事業に参加を希望していた学生を救済するため、令和3年度は同事業の対象者数を増やし実施したいとの要望が出されたことから、令和3年度に関係予算を繰り越すことを検討しております。その他、予算の組替えなど必要になりましたら、新たな予算案を理事会にお諮りしご審議いただいたうえで執行して参りたいと考えています。これらの経過につきましては、後援会ホームページ等でお伝えいたします。

次に、理事の選任につきましては、従来は入学式終了後に補充が必要となった学部の保護者懇談会において、自薦・他薦により理事候補者を選任いただいております。令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響で保護者懇談会が中止となったため、事務局から補充が必要となった学部の保護者に個別にお願いをいたしました。

以上がお答えとなりますので、ご理解のほどよろしくお願いいたします。

例年、お届けしております NEWS LETTER（定時総会報告）の2020年版はホームページに掲載しておりますのでご覧ください。

<http://www-user.yokohama-cu.ac.jp/~kouenkai/back-number/index.html>

# 横浜市立大学後援会活動に関するアンケートの結果報告

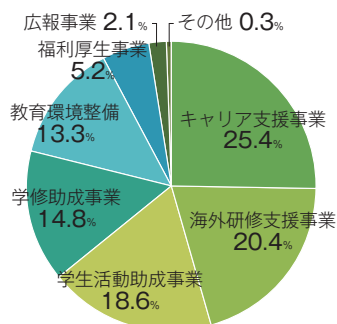
8月に実施いたしました「横浜市立大学後援会活動に関するアンケート」では、多くの方々にご回答をいただき、深く感謝を申し上げます。

頂戴しましたご意見は、学生の皆さんのキャンパスライフがより充実したものとなるよう今後の活動の参考とさせていただきます。貴重なご意見をいただきましてありがとうございました。

横浜市立大学後援会活動に関するアンケート 会員数＝3,882 回収枚数＝1,180 回収率＝30.3%

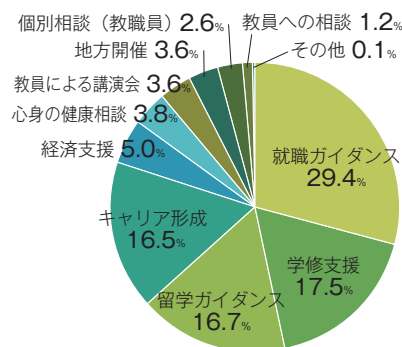
## 1. 当会の活動で関心のある活動、期待する活動（複数選択可）

	回答数
キャリア支援事業	773
海外研修支援事業	620
学生活動助成事業	567
学修助成事業	452
教育環境整備	404
福利厚生事業	157
広報事業	64
その他	8
	3045



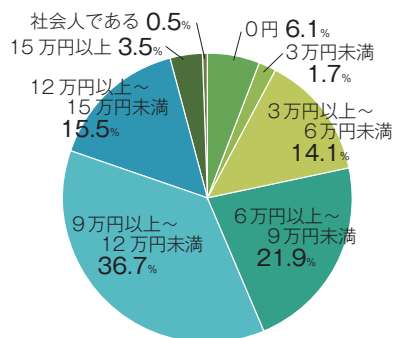
## 2. 保護者説明会で関心のある内容、充実してほしい内容（複数選択可）

	回答数
就職ガイダンス	848
学修支援	505
留学ガイダンス	482
キャリア形成	476
経済支援	145
心身の健康相談	109
教員による講演会	105
地方開催	105
個別相談（教職員）	76
教員への相談	34
その他	4
	2889



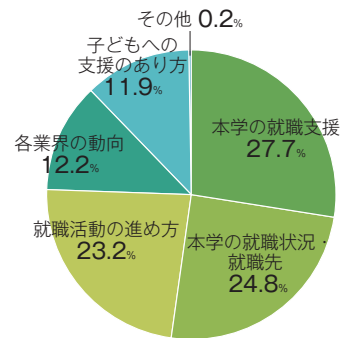
## 3. 仕送り額(家賃を含む)

	回答数
0円	40
3万円未満	11
3万円以上～6万円未満	92
6万円以上～9万円未満	143
9万円以上～12万円未満	239
12万円以上～15万円未満	101
15万円以上	23
社会人である	3
	652



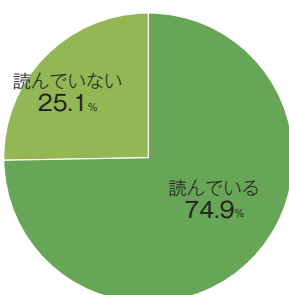
## 4. 就職や就職先についての関心（複数選択可）

	回答数
本学の就職支援	832
本学の就職状況・就職先	745
就職活動の進め方	698
各業界の動向	365
子どもへの支援のあり方	358
その他	6
	3004



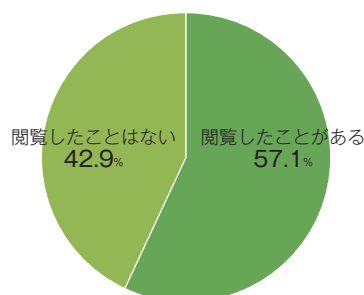
## 5. 会報(NEWS LETTER)について

	回答数
読んでいる	578
読んでいない	194
	772



## 6. YCU後援会のホームページについて

	回答数
閲覧したことがある	663
閲覧したことはない	499
	1162





## 学術情報センター

金沢八景キャンパス学術情報センターでは、学生の学修・研究にかかわる様々な情報やサービスを提供しています。約69万冊の図書、約1万4千タイトルの雑誌、約2万2千タイトルの電子ジャーナルが利用できます。授業期間中の平日は21時まで、土曜日も17時まで開館しており、多くの学生が学修・研究に取り組んでいます。センター内には500席を超える閲覧席のほか、情報探索やレポート作成に利用できるパソコンやグループ学修に活用できるスペースを備え、学生の様々な学修スタイルをサポートしています。

令和2年度はコロナ禍で、年度当初からの臨時閉館を余儀なくされましたが、5月から開始した資料の郵送貸出サービスは大きな反響を得、多くの学生や教職員に利用されました。その他にも、LINEやZoom等のツールを活用したオンラインレファレンスの実施、例年対面で実施している「学術情報センターの使い方」「レポート作成の方法」等の各種ガイダンス資料・動画のホームページ掲載、電子ブックの整備等を進め、「来館しなくても使える図書館」として学生の学修・研究を支援してきました。その後、段階的に開館サービスを拡大し、感染症対策の徹底と利用者の利便性を両立させながら図書館サービスの提供に取り組んでいます。学生ライブラリストアップも、図書館の活用に関する学生視点での情報発信や図書館関連のイベントへの出展に取り組んでいます。

◇後援会からの図書寄贈 後援会から毎年多くのご支援をいただき、学修・研究環境が一層、充実しています。昨年度に引き続き有志の学生による「学生選書」を行い、学生の希望をより反映させた図書をご寄贈いただいています。「学生選書」による寄贈図書は9月から企画展示を行っており、学生から好評を得ています。寄贈図書の中でも資格勉強や就職活動に関する図書は、学生が多く利用するスペースに並べています。その他、学生の日常生活を豊かにする料理本や小説など、多くの資料が頻繁に利用されており、学生生活にも大いに役立っています。

## ゼミ活動 「大学 SDGs ACTION! AWARDS」 準グランプリ受賞

国際総合科学部 国際都市学系 グローバル協力コース 3年 知念 璃未・宮島 麗奈



吉田ゼミでは、学年ごとに分かれて行う「学年ゼミ」と、興味関心が似た人同士で集まって調査・研究をする「班ゼミ」にそれぞれ所属し、活動しています。中でも、班ゼミの活動の一環として「アフリカの女子教育向上と貧困削減」についてグループで研究を進め、2020年2月15日に行われた朝日新聞社主催の「大学SDGs ACTION! AWARDS」にて、準グランプリを受賞いたしました。そこでは、マラウイに半年間留学した班員の経験を基に、経済的理由で生理用品が手に入らないため、女子生徒が授業を欠席しがちになり教育機会を奪われる「月経貧困」に着目しました。マラウイに限らず、アフリカの多くの国々では月経貧困が深刻な問題となっています。そこで月経貧困の解決策として、安価で手に入れやすく持続的である布ナプキン、古着から製作する案を発表しました。上手くいけば月経貧困の解消はもちろん、世界で洋服が大量消費されている問題の部分的解決、布ナプキン製作を通して現地の雇用創出、性教育への理解促進など、数多の効果が見込まれるプロジェクトです。このプロジェクトを数年以内に実現させるべく、既にアフリカ諸国で布ナプキンの製作をされている方々にインタビューをしたり、月経や性教育に関するイベントを企画したりして、今はアフリカ進出のための下準備を日本で進めています。今後の行方も温かく見守っていただければ幸いです。  
[https://www.yokohama-cu.ac.jp/news/2019/20200331\\_yosiha\\_remi.html](https://www.yokohama-cu.ac.jp/news/2019/20200331_yosiha_remi.html)

## 国内学会発表 第22回理論化学討論会 優秀ポスター賞受賞

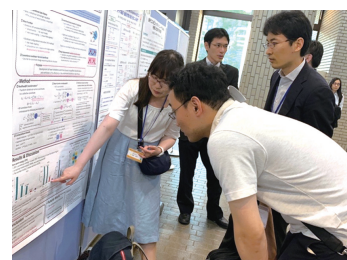
生命ナノシステム科学研究科 物質システム科学専攻 博士後期課程 2年 石井 桐子

私は、2019年5月27日から29日に北海道にて開催された第22回理論化学討論会において、「Backflow変換を用いた新規振動座標による高精度非調和振動状態理論の開発」というテーマでポスター発表を行い、優秀ポスター賞を受賞いたしました。

本討論会は、理論化学分野で研究を行っている様々な研究者が研究発表を通して交流し、周辺分野に対する理論化学分野のプレゼンスを高めることを目的とした討論会です。

私達の世界を構成している分子は、小さすぎて目には見えませんが常に動いています。これを分子の振動と言い、絶対零度(-273℃)においても分子は振動しています(ゼロ点振動)。また分子の振動にはその種類によって“個性”があります。今回私は、このゼロ点振動について理論的に研究し、発表を行いました。分子毎の振動の“個性”を正しく理解するためには量子力学に基づく理論的なアプローチが必要になります。本研究ではbackflow変換という量子力学的手法を用いた新しい分子振動の理論を開発し、様々な分子のゼロ点振動の“個性”の記述に対して、その有効性を実証することができました。

私の研究テーマは、理論化学分野の中でも独自性が高く、多くの研究者の方々が興味を持ってくださり、また多くのご助言をいただくことができました。学会参加で得られた経験と知識は大変貴重なものであり、後援会の方々には多大なるご支援をいただきましたこと、学生を代表して心より感謝申し上げます。今後ともご支援のほどよろしくお願い申し上げます。



グローバルな視野を持ち、世界で活躍する人材を育てるため、本学では海外での様々な学びや実践の場を提供しています。後援会からのご支援を受け、海外で様々な体験を重ね、多くのことを学んだ学生たちからの体験談をお届けします。

令和2年度も学生からの様々なニーズに応えるべく、メモリアル大学（カナダ）、ニューヨーク州立大学（SUNY）ストーニーブルック校（アメリカ）等の大学と交換留学を中心に新たにプログラムを増やしました。

## 海外留学・研修プログラム

	募集枠 (予定)	プログラム名
交換留学	5	ベネチア大学（イタリア）
	2	リヨン第3大学（フランス）
	1	ゲーテ大学（経営経済学部）（ドイツ）
	2	ゲーテ大学（社会科学部）（ドイツ）
	3	ウィーン大学（オーストリア）
	2	ナバラ大学（スペイン）
	3	サンティアゴ・デ・コンポステラ大学（スペイン）
	2	オレブロ大学（スウェーデン）
	1	ハルムスタード大学（スウェーデン）
	2	オウル大学（フィンランド）
	2	ウィーバー州立大学（アメリカ）
	2	モントリオール大学（カナダ）
	1	アメリカス・プエブラ大学（メキシコ）
	1	上海師範大学（中国）
	1	東海大学（台湾）
	2	国立政治大学（台湾）
	2	仁川大学校（韓国）
	1	高麗大学校 世宗キャンパス（韓国）
	2	淑命女子大学校（韓国）
	1	タマサート大学（タイ）
	1	チェンマイ大学（タイ）
	1	マレーシア科学大学（マレーシア）
令和2年 新規募集	2	ド・モントフォート大学（イギリス）
	2	リーズ・トリニティ大学（イギリス）
	1	マドリード・コンプルテンセ大学（スペイン）
	2	エトヴェシュ・ローランド大学（ハンガリー）
	2	ヤゲウォー大学（ポーランド）
	2	中東工科大学（トルコ）
	2	サンディエゴ州立大学（アメリカ）
	2	サザン・メイン大学（アメリカ）
短期語学 研修、 夏季講座	1	SUNYストーニーブルック校（アメリカ）
	2	メモリアル大学（カナダ）
	2	北京師範大学 漢語文化学院（中国）
長期派遣		ブリッジプログラム、セメスター留学、 ディズニー・バレンシア国際カレッジプログラム

## 海外フィールドワーク支援プログラム

所属	参加 学生数 ※	主な渡航先
共通教養	14	シンガポール（ジュロン）
国際教養学部	20	イギリス（ロンドン）
	20	シンガポール（ジュロン）
	10	ケニア（ナイロビ）、マラウイ（リロングエ）
	18	ケニア（ナイロビ）
	15	中国（西安）
国際商学部	16	タイ（プーケット）
	17	アメリカ（ニューヨーク）
理学部	8	メキシコ（テスココ・ティオワカン・メキシコシティ・レオン・グアナファト・ラバス）
データサイエンス学部	11	台湾（台北）
	11	台湾（台南）
生命環境システム 科学専攻	10	台湾（台北）
物質システム 科学専攻	10	アメリカ（サンディエゴ）
生命医科学専攻	12	シンガポール（ジュロン）

※令和2年度のプログラムは新型コロナウイルス感染症の影響に伴い中止となりました。

## 海外インターンシップ

○春季（R2.2～3月）

国・都市名	参加 学生数	派遣先企業
アメリカ・ロサンゼルス	1	Japan America Society of Southern California
アメリカ・シアトル	1	Youth Theatre Northwest
アメリカ・ニューヨーク	1	横浜市米州事務所
オーストラリア・シドニー	1	JAMS.TV PTY LTD

○夏季（R2.8～9月）※

国・都市名	参加 学生数	派遣先企業
アメリカ・サンディエゴ	1	Berkshire Hathaway HomeServices
アメリカ・シカゴ	1	Sysmex R&D Center Americas, Inc.

※新型コロナウイルス感染症の影響に伴い海外渡航が制限されたため、オンライン形式で実施しました。



## コロナ禍の留学について

## 新型コロナウイルス感染症への対応

新型コロナウイルス感染症拡大という未曾有の事態は、学生の留学に大きな影響を与えました。本学では感染が報じられた昨年末より事態を注視しておりましたが、2020年3月にイタリアがロックダウン（封鎖措置）を実施するなど、感染拡大による危険が大きくなったため、現地領事館等との連携により、感染状況や治安状況、現地政府の対応といった情報収集と航空便の確保により、学生が安全に帰国できるよう支援に全力を挙げました。幸い感染した学生はおらず、現時点では全ての大学公式プログラムに参加した学生が安全に帰国しています。また、留学途中で緊急帰国をした学生や渡航を予定していた学生が渡航不可となったことにより被る不利益をできるだけ抑えられるよう、履修期間の延長などの特例措置や渡航延期の調整など、学生の希望に寄り添って対応しています。

残念ながら今もなお、多くの国・地域に外務省から感染症危険情報が発令されており、大学公式プログラムによる渡航再開の見込みは立っていません。そのため、本学学生が少しでも国際経験を得られるよう、海外協定大学等と協議を重ね、オンラインで現地の授業を受けることができる留学プログラムの整備等を進めています。

## （プログラム例）

## カナダ ウェスタンオンタリオ大学 オンライン・カスタマイズプログラム

## 【大学について】

ウェスタンオンタリオ大学は、1881年創立の州立大学です。特にその研究活動においては、高い評価を受けています。本学とは2019年から協議を重ね、国際商学部向けのプログラムを提供しています。

## 【プログラム内容】

3週間のオンラインプログラムとして、8月10日から28日に開講されました。最初の1週間は、ビジネスに特化した英語の語学研修を受け「読む・聞く・話す・書く」の4技能を伸ばします。

続く2週間では、ビジネスに関する講義・演習を通じ、専門的な知識を養うことができる構成となっており、グローバル企業での活躍を目指す学生に適したプログラムです。

英語語学研修で学んだ知識と技術を生かして実際にインタビューを体験したり、現地カナダのグローバル企業の責任者を招いてビジネスの現場の実情を講演してもらう等、座学のみにとどまらない、実践的な内容が魅力のプログラムです。



## ウェスタンオンタリオ大学 オンライン・カスタマイズプログラム体験談

国際商学部 国際商学科 2年 須田 幸太郎

私は、夏季休業期間中にウェスタンオンタリオ大学オンラインプログラムに参加しました。このプログラムでは、基本的なリーディング、リスニング、ライティング、スピーキングを鍛えることに加え、実際に現役で働いているビジネスマンや大学生の体験談を伺うことができました。また、最後にはグループに分かれてケーススタディを行い、プログラムで習ったことを応用した取り組みを行うことができました。このプログラムで私が価値を感じたポイントは、「ネイティブスピーカーと英語の特訓ができること」、「専門知識を学べること」、「実際に現役で働いているビジネスマンの経験を伺えること」の3点だと思います。プログラムのスケジュールも細かく組まれており、フィードバックをもらうことができたため、自分自身に足りないことを理解し、次にどのような行動をすればよいかを明確にすることができました。クラスを共にしたメンバーとZoomで話したり、先生にも英語の練習相手になってもらうなど、今でも交流が続いており、コミュニティを広げる上でも貴重な経験でした。またこのような機会があれば、参加したいと考えています。

## 海外インターンシップ

## 実習先：横浜市米州事務所

国際総合科学部 国際総合科学科 2年 鈴木 愛以



私は、横浜市の在外事務所としてニューヨーク州で米国企業の横浜市への企業誘致等を行う、横浜市米州事務所に実習に行きました。

今回の実習先を選んだ理由は、まず立地でした。世界的なビジネス都市のニューヨーク州で働くことのできる経験は大きな刺激が得られると考えたためです。次に、私は海外で働くことに興味があり、横浜市とニューヨーク州とのより強い結びつきを感じられるのではないかと考えました。

実習内容は、主にWebサイトの記事投稿や資料作成でした。横浜市立大学のみなとみらいサテライトキャンパスを横浜市のビジネス発展と関連付けながら記事を作成したり、横浜市とアメリカで開催されるイベントを調べ、リストアップしたりしました。

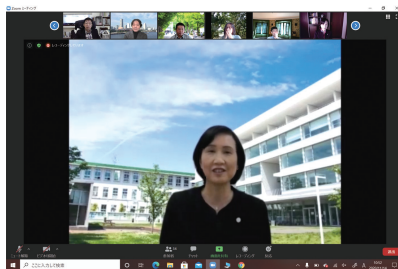
実習で一番印象に残っているのはリモートワークです。近年働き方改革として話題となっている働き方を体験できたのはとても良い経験になりました。またその中で新型コロナウイルス感染症への対応について国の違いをしっかりと感じる事ができました。

今後の目標は、自分の世界をもっと広げることです。今回の渡航では、新型コロナウイルス感染症の影響で活動範囲が制限されたこともありましたが、行かなければ感じられなかったことを沢山経験しました。

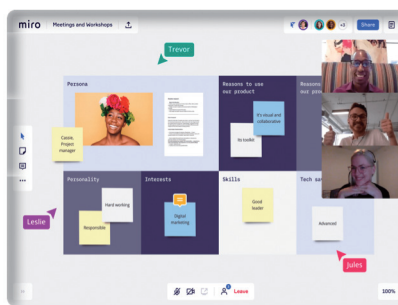
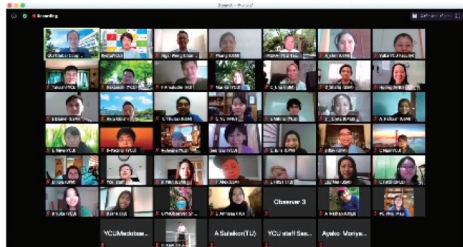
最後に、このたびの海外で学ぶ機会をご支援いただきました後援会の皆様には心より御礼申し上げます。

## アカデミックコンソーシアム

2020年11月14日(土)、アカデミックコンソーシアム\*の第11回総会および国際シンポジウムが、ベトナム国家大学(ホーチミン)の主催で、オンライン(Zoom)併用方式により開催されました。「市民のための都市:理論から実践まで」を全体テーマとしたシンポジウム



では、本学の相原学長によるオープニングメッセージや国際教養学部の鈴木伸治教授による基調講演が配信されました。ベトナム及び海外から多くの研究者が参加し学術における交流を深めました。なお、来年度の第12回大会は横浜市立大学が主催校となることが決定しています。



グローバル都市協力研究センター(GCI) \*\*では、第2クォーターを活用した留学生受入プログラムの開発を進めており、アカデミックコンソーシアムの共通教育プログラムであるSUDP (Sustainable Urban Development Program) を6月に実施する予定でした。しか

しながら、新型コロナウイルス感染症の影響により海外学生が来日できなくなったため、夏季休暇(8月18日~22日)を利用し、オンラインでの開催となりました。計37名の学生(海外26名、本学11名)が参加し、横浜市の事例を中心に都市課題解決について学びました。パソコンの画面上でグループワークができるアプリを活用するなど、双方向の国際協働学習に向けて、学内でも先駆的な取り組みとなりました。

\*アカデミックコンソーシアム:横浜市立大学が事務局を務める都市の課題解決を目的とした大学間ネットワーク。マレーシア、タイ、フィリピン、ベトナム、インドネシア、韓国の大学が参加。

\*\*グローバル都市協力研究センター:Global Cooperation Institute for Sustainable Cities (GCI)。「環境」「まちづくり」「公衆衛生」の3ユニットから構成され、アカデミックコンソーシアムにおける研究活動や学生交流を推進。



## 伊藤雅俊奨学生・成績優秀者特待生表彰式

伊藤雅俊奨学生は、前年度の成績をもとに国際総合科学部経営科学系の経営学コースまたは会計学コースの3年次生以上の各学年及び国際商学部2年次生より選出された極めて優秀な学生に授与しています。

成績優秀者特待生制度は学業・人物ともに優秀な学部生に対し、学業への一層の努力を奨励するとともに、本学学生の学修意欲の向上を期待して設置しています。

令和2年度は新型コロナウイルス感染症対策のため、キャンパスごとに出席者を分散して、表彰式を行いました。10月30日(金)に金沢八景キャンパスシーガルホールにおいて、伊藤雅俊奨学生及び金沢八景キャンパス所属学部の成績優秀者特待生、11月6日(金)には、福浦キャンパスヘボンホールにおいて、医学部の成績優秀者特待生を表彰しました。式典では、奨学生・特待生への表彰状及び目録の授与に加えて、代表学生による学修成果の発表も行われました。



## YCU Best Student Award・YCU Student Award



本学の名誉を高め、学内の士気高揚に貢献する成果を上げた学生及び団体に対し、「YCU Best Student Award・YCU Student Award」として表彰を行っています。課外活動をはじめとして、学術、芸術、社会貢献、スポーツ及び文化活動において優れた業績を上げた学生の功労を称えることで、学生活動の活性化に貢献しています。後援会からは、受賞者に副賞をお渡ししています。

令和元年度はドイツ化学会誌「Angewandte Chemie」やアメリカ化学会誌「Crystal Growth&Design」に論文が掲載された生命ナノシステム科学研究科 博士前期課程 物質システム科学専攻 2年(受賞当時)坂元駿一さんと、USA JAPANチアリーディング&ダンス学生選手権2019大学編成Show Cheerleading部門2位、USA School&College Nationals2019大学編成Show Cheerleading部門2位を獲得した応援団チアリーダー部 SEAGULLSの皆さんがYCU Best Student Award(写真上)を受賞されました。

YCU Student Award(写真下)には個人の部として、学部生として査読付き国際学術誌に論文を公刊された近藤佳裕さん(国際総合科学部)、第8回サイエンス・インカレで審査員特別賞を受賞した加藤麦都さん(生命ナノシステム科学研究科)、全日本470級ヨット選手権に出場した菅野朋子さん(医学部)の3名が受賞されました。

また、団体の部では、JAPAN Cup2019総合準優勝及び弁論者4名が入賞した瀬田ゼミ、神奈川産学チャレンジプログラムにおいて出場した4チームすべてが入賞した柴田ゼミ15期生、WiDS Tokyo@YCUアイデア・チャレンジ学生の部で最優秀賞を受賞し、日経データサイエンスフェス大学選抜プレゼン大会へ参加したデーサイ主婦スリーの3団体が受賞されました。

なお、表彰式は3月に実施予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響で延期し、10月30日に伊藤雅俊奨学生・成績優秀者特待生表彰式と合同で開催しました。

## 浜大祭の中止と花火の打ち上げ

普段から、私たち浜大祭実行委員会に対する皆様のご理解とご協力に深く感謝申し上げます。後援会の皆様の多大なるご支援により、例年開催している浜大祭ですが、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、残念ながら中止となりました。

浜大祭の中止を受け、実行委員会としては、コロナ禍で社会全体が暗い雰囲気包まれる中で何かできないかと考え、「悪疫退散」と「すべての皆さんを元気づけたい」との想いから、花火を打ち上げました。

来年度は、新型コロナウイルス感染症が無事に終息し、今までよりも盛り上げられる浜大祭にしていきたいと思ひます。

今後も、変わらぬご支援のほどよろしくお願いいたします。

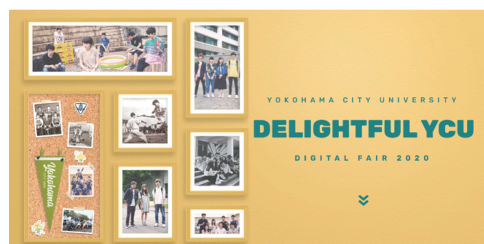
第70回浜大祭実行委員会 委員長 関 芳実



### 課外活動特設サイト「DELIGHTFUL YCU～DIGITAL FAIR 2020～」

横浜市立大学では、頑張っている学生のいきいきとした姿（課外活動、キャンパスライフ等）を、動画などを通して、皆さんにご紹介する特設サイト「DELIGHTFUL YCU～DIGITAL FAIR 2020～」を公開しました。

11月1日に金沢八景キャンパス第1グラウンドで打ち上げた花火の様子や、応援団チアリーダー部などが参加したライブ中継のほか、昨年度の浜大祭の様子も動画で公開しておりますので、ぜひご覧ください。



## クラブ活動

### ■アーチェリー部

アーチェリー部 主将 田中 大貴



アーチェリーは、70m先の的に向かって矢を放つスポーツです。的の中央にある黄色のリングの大きさはDVD1枚ほどの大きさしかなく、1mmのズレも許さない高い技術力と集中力が求められます。新型コロナウイルス感染防止の観点から、練習回数には限りがありますが、少ない時間の中で日々上達できるよう活動しています。

2020年は創部以来初となる全日本学生アーチェリー選手権に出場することができました。他のスポーツと全く感覚が異なるため、運動が苦手な方でも挑戦するハードルが低いスポーツです。人生に一度しかない大学生活で他とは感覚の異なるスポーツを行

うことは、良い経験になっていると実感しています。時には挫折しそうなときや苦しいときもありますが、自分で考え行動し、仲間と共に壁を乗り越えることができたときの充実感は、大学スポーツならではの魅力と考えています。

コロナ禍の中でも、練習や全日本大会に参加できていることは、後援会のご支援の賜物です。さらなる結果を出すべく、部員一丸となって活動していきたいと考えておりますので、今後ともご支援とご協力のほどよろしくお願いいたします。

### ■アカペラシンガーズvoxbox

アカペラシンガーズvoxbox 部長 中原 準太朗

私たちアカペラシンガーズvoxboxは現在約60名で活動しております。「アカペラって何だろう」と疑問を持つ方もいらっしゃるかもしれませんが、コーラスやボイスパーカッションなどのパートに分かれ、声だけでハーモニーを奏でます。好きな歌手の曲を歌ったり、気の合う仲間同士でバンドを組んだり、自由に楽しくアカペラに触れています。文化部の中では大規模な団体であり、歌うことが得意な人や大学で新しいことに挑戦したい人など、多種多様で個性豊かな部員が多く所属しています。

今年は予定していたライブが全て中止となり、またライブが開催できる日を待ち遠しく感じています。掲載している写真は、voxbox最大のイベントである夏ライブの様子です。大会場で外部の方々にアカペラを披露する機会は貴重な経験となり、大きな達成感を得ることができます。この他にも、外部のオーディションやイベントにも参加しています。このような幅広い活動ができるのは、大学をはじめ後援会のご支援があつてのことです。本当にありがとうございます。今後ともご支援とご協力のほどよろしくお願いいたします。




夏ライブの写真（写真は昨年のものです）



キャリア支援センターでは、在学生一人ひとりの夢の実現をサポートするため、様々なキャリア・就職支援を行っています。例えば、キャリア・進路に関する相談、求人情報・OBOG情報等の公開はもちろん、毎年200社以上の企業が学内に集まって説明会を実施する合同企業セミナー、卒業生との交流会の運営など、横浜市立大学ならではのイベントも多く開催しています。

現在は新型コロナウイルス感染症の影響により、相談対応やイベント開催、インターンシップ等、取り組みの一部をオンラインで実施しています。

## キャリア・就職支援の主な取り組み

キャリア・進路相談	専門のキャリア・コンサルタントを配置し、マンツーマンで相談に応じています。学部1年次より利用可能で、希望する進路や将来のキャリア像にあわせて学生の自立をサポートしていきます。また、エントリーシート添削・模擬面接など、就職活動の具体的なアドバイスも行います。	
キャリア支援イベント	1年を通して様々な就職・キャリアに関するイベントを開催しています。就活年次生向けの就職対策講座はもちろん、低学年向けの就職ガイダンスや公務員講座（有料）、理系学生向けの進路ガイダンス、留学出発前・帰国後の学生のための就職セミナーなど、学生の多様なニーズにあわせたイベントを実施しています。	
キャリア形成実習 (キャリアデザイン)	主に学部の1年次生を対象に、仕事や就職だけでなく、より広い視野で主体的にこれからのキャリアについて考えることを目的とした正課科目です。OBOGをゲストスピーカーとして招き、学生時代の経験が社会に出てどのように活かされているか、社会に出るとはどういうことか、といったことをお話しいただく機会も設けています。	
国内・海外インターンシップ	民間企業から官公庁まで幅広い分野で、国内外問わず就業体験をする場を提供しています。海外インターンシップでは、学生の海外渡航費用の一部を後援会より助成をいただいています。 *学部1年次後期以降対象 海外インターンシップについては、7ページ、9ページをご参照ください。	
キャリアメンター制度	就職活動を終えた学部4年次生／修士2年次生（メンター）が自己の経験をもとに、後輩（学部3年次生／修士1年次生）に対して相談に応じたり、助言をしたりする制度です。学生同士の交流を目的として、年に1度開催している「内定者と就活生の集い」の開催費用を後援会より助成をいただいています。	
キャリアサポーター制度	卒業生がキャリアサポーターとして在学生のキャリア・就職支援を行う制度です。現在、キャリアサポーターは3,500名以上の登録があり、在学生はキャリア支援センターでサポーター情報を検索し、直接コンタクトをとることができるほか、年に1回開催される「キャリアサポーターと学生の集い」と題した交流会を通して、仕事のやりがいや就活のアドバイスを聞くことができます。 *キャリアサポーターと学生の集いの開催費用は後援会より助成をいただいています。	
書籍の貸出し	業界・職種研究や筆記試験、面接対策など就職活動に役立つ書籍のほか、キャリア全般に関する書籍、ビジネス誌等を学生に貸出ししています。書籍の購入費用は一部、後援会より助成をいただいています。	
就職支援 パートナーシップ制度	首都圏以外の各地方で就職を希望する学生を支援するため、Uターン・Iターン就職希望地域の協定大学（下記13大学）で求人情報閲覧や就職相談、合同企業説明会への参加等が可能となる制度です。 国際教養大学、福井県立大学、長野県立大学、東京都立大学、都留文科大学、山梨大学、山梨県立大学、静岡県立大学、名古屋市立大学、大阪市立大学、兵庫県立大学、広島市立大学、北九州市立大学	

## 入学から卒業までの流れ

学年	1 年	2 年	3 年	4 年
支 援 内 容	新入生オリエンテーション	2 年次生向けオリエンテーション	3 年次生向けオリエンテーション	
	キャリア形成実習（キャリアデザイン）			
	キャリア・進路相談			
	キャリア支援イベント			
			国内・海外インターンシップ	
			公務員講座	
			就職ガイダンス・合同企業セミナー	
			キャリアメンター制度	
			キャリアサポーターとの集い	
	OB・OG 訪問（キャリアサポーター制度）			
書籍貸出し				
就職支援パートナーシップ制度				

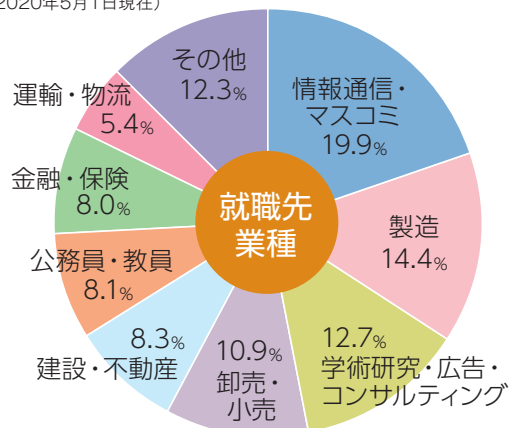
※新型コロナウイルス感染症の影響により、イベントスケジュール等は変更になる場合があります。

## 卒業生進路

卒業後の進路は就職をはじめ、大学院への進学や留学、資格取得など様々です。国際教養学部、国際都市学系、経営科学系の文系の学生は9割以上が就職を希望し、理学系では約6割の学生が進学しています。

直近の令和元年度国際総合科学部卒業生全体の就職率は99.0%と、全国平均を1.0ポイント上回る数値となりました。グローバルに事業展開する民間企業のほか、横浜市役所や横浜銀行など横浜市内で働くことを希望する学生も多くおり、就職後の状況は各企業から高い評価をいただいております。

■令和元年度  
国際総合科学部 卒業生進路状況（業種割合）  
（2020年5月1日現在）

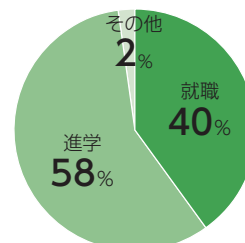
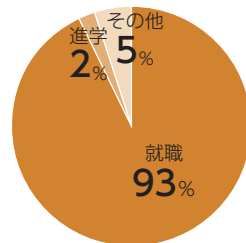
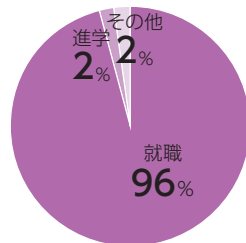
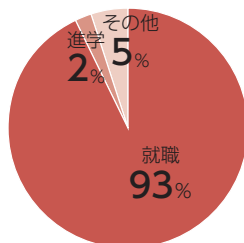


■令和元年度国際総合科学部 卒業生就職実績（2020年5月1日現在）

※就職率=就職者数÷就職希望者数

国際教養学部				国際都市学系				経営科学系				理学系			
就職率	98.7%			就職率	99.2%			就職率	98.8%			就職率	100.0%		
進路	就職	進学	その他	進路	就職	進学	その他	進路	就職	進学	その他	進路	就職	進学	その他
人数	147	3	8	人数	129	2	3	人数	248	5	13	人数	53	77	3

[進路内訳]



## コロナ禍におけるキャリア・就職支援への取り組み

2020年3月以降、新型コロナウイルス感染症拡大により、企業説明会等の延期・中止等の影響が出てきています。文部科学省によると、2021年3月卒業の新規大学卒業予定者の就職内定率は10月1日時点で69.8%となり、昨年の同時期と比べ7.0ポイント減少しました。また、大学生・大学院生対象の大卒求人倍率は1.53倍となり、前年より0.3ポイント減少している状況です。

新型コロナウイルス感染拡大が多方面で影響を及ぼしている状況下において、キャリア支援センターでは、学生一人ひとりの支援をしっかりと行うため、進路相談、キャリア支援イベント、公務員講座等の取り組みの一部をオンライン（ライブ配信やオンデマンド配信）で実施するなど、学生の安全を最優先に考慮し、様々な支援を行っています。

また、インターンシップについては、今後に向けて「対面形式」と「オンライン形式」を併用した「ハイブリット形式」での実施も視野に入れ、学生の安全を確保しつつも有意義な実習経験が得られる機会を提供できるよう、感染症の状況を見極めながら検討を進めていく予定です。

キャリア支援センターでは、学生の皆さんが、学修時間を確保しながら安心して就職活動に取り組めるよう、就職活動が本格化する前の段階からインターンシップへの参加や幅広い情報収集を促すことで、自分に合った進路を主体的に見つけるようサポートしていきます。

※学生へのキャリア支援に関する案内は、主に学内掲示及びメール配信で行っています。



## ■令和元年度国際総合科学部 卒業生の主な就職先・進学先

### 国際教養学系

#### ■製造

株式会社ANAケータリングサービス  
キャノン株式会社  
キャノン電子株式会社  
株式会社クラレ  
大王製紙株式会社  
富士電機株式会社  
本田技研工業株式会社  
ヤンマー株式会社  
■金融・保険  
全国共済農業協同組合連合会  
野村證券株式会社  
明治安田生命保険相互会社  
株式会社横浜銀行  
株式会社りそなホールディングス  
■建設・不動産  
旭化成ホームズ株式会社

#### 株式会社エイブル

■広告・コンサルティング・専門サービス  
株式会社東洋食品  
株式会社野村総合研究所  
■公務員・教員  
会計検査院  
神奈川県庁  
東京都庁  
農林水産省  
横須賀市役所  
横浜市教育委員会  
横浜市役所  
横浜税関  
■商社・卸売・小売  
伊藤忠ケミカルフロンティア株式会社  
エプソン販売株式会社  
キャノンマーケティングジャパン株式会社

#### 株式会社JTB商事

株式会社成城石井  
株式会社高島屋  
フコク物産株式会社  
株式会社三越伊勢丹  
■情報通信・マスコミ  
株式会社ベネッセコーポレーション  
楽天株式会社  
■その他  
株式会社イーオン  
株式会社エイチ・アイ・エス  
国立大学法人お茶の水女子大学  
株式会社近畿日本ツーリスト首都圏  
クラブツーリズム株式会社  
株式会社JALスカイ  
株式会社スターフライヤー  
住商グローバルロジスティクス株式会社

#### 全日本空輸株式会社

東海旅客鉄道株式会社  
東京ガス横浜中央エネルギー株式会社  
公益財団法人 日本漢字能力検定協会  
日本年金機構  
日本郵便株式会社  
羽田空港サービス株式会社  
ヒルトン・ホテルズ・コーポレーション  
株式会社星野リゾート  
丸全昭和運輸株式会社  
RIZAPグループ株式会社  
■主な進学先(大学院)  
神奈川大学大学院  
神戸大学大学院  
早稲田大学大学院

### 国際都市学系

#### ■製造

キリン株式会社  
グンゼ株式会社  
株式会社コーセー  
株式会社小松製作所 (コマツ)  
株式会社JVCケンウッド  
株式会社デンソー  
日本電気株式会社 (NEC)  
日本ロレアル株式会社  
パナソニック株式会社  
ヤマハ発動機株式会社  
■金融・保険  
アクサ生命保険株式会社  
株式会社日本政策金融公庫  
三井住友海上あいおい生命保険株式会社  
■建設・不動産  
ANAファシリティーズ株式会社

#### 鹿島建設株式会社

清水建設株式会社  
株式会社竹中工務店  
独立行政法人都市再生機構  
日揮ホールディングス株式会社  
野村不動産株式会社  
ミサワホーム株式会社  
三井不動産リアルティ株式会社  
三菱地所コミュニティ株式会社  
株式会社ルミネ  
■広告・コンサルティング・専門サービス  
アクセンチュア株式会社  
独立行政法人中小企業基盤整備機構  
株式会社日本総合研究所  
独立行政法人農畜産業振興機構  
■公務員・教員  
市川市役所

#### 大田区役所

厚生労働省  
国土交通省  
土浦市役所  
沼津市役所  
農林水産省  
横浜市役所  
■商社・卸売・小売  
ANAフーズ株式会社  
エプソン販売株式会社  
キャノンマーケティングジャパン株式会社  
株式会社ニトリ  
■情報通信・マスコミ  
沖縄セルラー電話株式会社  
株式会社産業経済新聞社  
JFEシステムズ株式会社  
日本アイ・ビー・エムソリューションサービス株式会社

#### 株式会社日立インフォメーションエンジニアリング 楽天株式会社

■その他  
株式会社エイチ・アイ・エス  
株式会社近鉄エクスプレス  
神奈川中央交通株式会社  
東京ガスエコモ株式会社  
株式会社日新  
日本赤十字社  
日本通運株式会社  
パーソルキャリア株式会社  
東日本旅客鉄道株式会社  
北陸電力株式会社  
■主な進学先(大学院)  
北海道大学法科大学院  
University of Sussex

### 経営科学系

#### ■製造

株式会社IHI  
アサヒ飲料株式会社  
味の素食品株式会社 (旧:クノール食品)  
株式会社伊藤園  
宇部興産株式会社  
キャノン株式会社  
株式会社クボタ  
コカ・コーラボトラーズジャパン株式会社  
サーモス株式会社  
サンスター株式会社  
住友電気工業株式会社  
セイコーエプソン株式会社  
セイコーホールディングス株式会社  
積水化学工業株式会社  
日産車体株式会社  
日本電気株式会社 (NEC)  
任天堂株式会社  
株式会社パイロットコーポレーション  
美津濃株式会社 (ミズノ)  
三菱電機株式会社  
三菱マテリアル株式会社  
ヤマハ発動機株式会社  
■金融・保険  
アフラック生命保険株式会社

#### SMBC日興証券株式会社

株式会社群馬銀行  
信金中央金庫  
株式会社大和証券グループ本社  
大和証券株式会社  
東京海上日動火災保険株式会社  
株式会社日本政策金融公庫  
日本生命保険相互会社  
みずほ証券株式会社  
株式会社みずほフィナンシャルグループ  
三井住友海上火災保険株式会社  
株式会社三井住友銀行  
明治安田生命保険相互会社  
株式会社ゆうちょ銀行  
株式会社横浜銀行  
■建設・不動産  
株式会社大林組  
大和ハウス工業株式会社  
日揮株式会社  
株式会社長谷工コーポレーション  
ミサワホーム株式会社  
■広告・コンサルティング・専門サービス  
アクセンチュア株式会社  
有限責任あずさ監査法人  
綜合警備保障株式会社

#### 株式会社日本総合研究所

株式会社博報堂プロダクツ  
三菱商事フィナンシャルサービス株式会社  
■公務員・教員  
神奈川県庁  
岐阜県庁  
国税庁  
総務省  
東京都庁  
東京入国管理局  
農林水産省  
横浜市役所  
横浜地方裁判所  
■商社・卸売・小売  
株式会社京急百貨店  
JFE商事株式会社  
株式会社成城石井  
株式会社ニトリ  
株式会社ビックカメラ  
三菱食品株式会社  
株式会社良品計画  
■情報通信・マスコミ  
伊藤忠テクノソリューションズ株式会社  
NTTコミュニケーションズ株式会社  
株式会社NTTデータ

#### ソフトバンク株式会社

株式会社日経BP  
日本アイ・ビー・エム株式会社  
ヤフー株式会社  
株式会社読売新聞東京本社  
楽天株式会社  
■その他  
川崎汽船株式会社  
独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構  
株式会社住友倉庫  
全日本空輸株式会社  
株式会社トライグループ  
日本航空株式会社  
野村不動産ホテルズ株式会社  
北陸電力株式会社  
RIZAPグループ株式会社  
■主な進学先(大学院)  
横浜市立大学大学院  
東京大学大学院  
早稲田大学大学院

### 理学系

#### ■製造

アース製薬株式会社  
株式会社ありあけ  
株式会社ニチレイフーズ  
株式会社富士通ゼネラル  
ユニ・チャーム株式会社  
株式会社リコー  
■公務員・教員  
上田市役所

#### 神奈川県警察

江東区役所  
東京都庁  
横須賀市役所  
横浜市教育委員会  
横浜市役所  
■商社・卸売・小売  
富士フイルムメディカル株式会社

#### ■情報通信・マスコミ

株式会社OSK  
楽天株式会社  
■その他  
日本航空株式会社  
公益財団法人日本産業廃棄物処理振興センター  
日本年金機構  
■主な進学先(大学院)  
横浜市立大学大学院

#### 大阪大学大学院

東京大学大学院  
東京医科大学大学院  
東京工業大学大学院  
東京農工大学大学院  
横浜国立大学大学院

# 横浜市立大学後援会会則

- (名称)  
第1条 本会は、横浜市立大学後援会と称する。
- (事務局)  
第2条 本会は、事務局を横浜市立大学金沢八景キャンパス内に置く。
- (目的)  
第3条 本会は、横浜市立大学の教育研究事業及び学生生活の支援等を行うことを目的とする。
- (事業)  
第4条 本会は、前条に定める目的を達成するため、次の事業を行う。
- (1) 学生の教育研究活動への支援
  - (2) 学生の学業、課外活動及び福利厚生事業に対する助成
  - (3) 学生の国際交流事業に対する支援
  - (4) 学生教育に関する講演会・研究会等の開催
  - (5) その他目的達成に必要と認められる事業
- (会員)  
第5条 本会は、次の会員をもって構成する。
- (1) 横浜市立大学に在学する学生（医学部2年次以上及び医学研究科を除く。）の保護者又は学生本人（以下「1号会員」という。）
  - (2) 横浜市立大学の教職員及びその退職者で本会の事業を支援する者（以下「2号会員」という。）
  - (3) その他本会の事業を賛助する者（以下「3号会員」という。）
- (役員の設置)  
第6条 本会に、次の役員を置く。
- (1) 理事 15名以上20名以内
  - (2) 監事 2名以内
- 2 理事のうち1名を会長、1名を副会長とする。  
3 理事のうち2名を業務執行理事とする。
- (役員の選出)  
第7条 前条に定める役員のうち、会長、副会長、業務執行理事は、理事の互選により選出する。
- (役員の任期)  
第8条 役員の任期は2年とし、再任を妨げない。ただし、会員資格を失ったときは退任する。
- (役員の任務)  
第9条 役員の任務は、次のとおりとする。
- (1) 会長は、本会を代表し、業務を総理する。
  - (2) 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるときは、その職務を代行する。
  - (3) 業務執行理事は、本会の業務を処理する。
  - (4) 監事は、本会の業務及び会計を監査する。
- (顧問)  
第10条 本会は、横浜市立大学との連携を密にするため、顧問を若干名置くことができる。
- 2 顧問は、理事会の承認を得て会長が委嘱する。
  - 3 顧問は、会長の諮問に応じるとともに、会長の求めにより理事会に出席して意見を述べるができる。
- (職員)  
第11条 本会の事務を処理するために、事務局に職員を置く。
- 2 職員は、理事会の承認を得て会長が委嘱し、有給とする。
- (会議等)  
第12条 本会の会議は、総会及び理事会とする。
- 2 総会及び理事会の議長は、会長がこれにあたる。
- (総会の決議事項)  
第13条 総会は、年1回開催し、次の事項について決議する。
- (1) 役員の選任
  - (2) 事業報告及び決算の承認
  - (3) 会則の改正
  - (4) その他本会の運営に関し必要と認められる事項
- 2 会長は、必要と認めるときは、臨時総会を開催することができる。  
3 総会は、出席者の過半数をもって決定し、可否同数の場合は議長が決定する。
- (理事会)  
第14条 理事会は、理事全員をもって構成する。
- 2 監事は、理事会に出席し、意見を述べる。
- (理事会の決議事項)  
第15条 理事会は、事業計画、予算、決算及びその他本会の運営に必要な事項について決議する。
- 2 理事会は、理事の半数以上の出席で成立する。  
ただし、出席できない場合は、委任状をもってこれに代えることができる。
  - 3 理事会の議事は、出席者の過半数をもって決定し、可否同数の場合は議長が決定する。
- (会計)  
第16条 本会の経費は、会費、寄附金及びその他の収入をもってこれにあてる。
- (会費)  
第17条 本会の1号会員は、入学時に会費を納入することとし、既納の会費は返還しない。
- 2 会費の額は、次のとおりとする。
    - (1) 学部においては学生1名につき、50,000円（ただし、医学部1年次生については15,000円）
    - (2) 大学院博士前期課程及び博士後期課程においては院生1名につき30,000円（ただし、博士前期課程から博士後期課程に進学した者にあつては20,000円）
  - 3 2号会員及び3号会員については、会費の納入を要せず、随時、本会の事業を支援、賛助するための寄附に努めるものとする。
- (会計年度)  
第18条 本会の会計年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。
- (会則の改正)  
第19条 この会則の改正は、総会で行う。
- 2 改正を議決するには、出席者の3分の2以上の賛成を必要とする。
- 附則  
本会則は、平成17年4月1日から施行する。
- 2 平成17年4月1日現在、会員である学生の保護者は、当該学生が卒業するまでの間は、会員とする。
- 附則  
本会則は、平成19年6月2日から施行する。
- 附則  
本会則は、平成22年6月26日から施行する。
- 附則  
本会則は、平成26年7月5日から施行する。
- 附則  
本会則は、平成29年7月1日から施行する。
- 附則  
本会則は、令和元年7月6日から施行する。

## 横浜市立大学後援会事務局

〒236-0027 横浜市金沢区瀬戸22-2 横浜市立大学内  
TEL : 045-787-2397 e-mail : kouenkai@yokohama-cu.ac.jp  
Http://www-user.yokohama-cu.ac.jp/~kouenkai/